

1. 部門目標

地域に求められる、小児外科医療を提供する。

小児外科が扱う疾患の特性として、一人で診ることができる疾患は限られている。緊急性が高い疾患や重症度の高い疾患、複雑な疾患などに関しては、千葉大学医学部附属病院や東京女子医科大学八千代医療センター、千葉県こども病院などの近隣の高次医療機関へ紹介している。その際、小児外科専門医として適切なアセスメントを心がけ、患者さんにとって不利益がないようにシームレスな医療を提供できるよう心がけている。

2. 業務体制・スタッフ

令和2年度は、常勤スタッフの小原が4～8月に産休・育休を取得した。その間は常勤医不在となったため、千葉大学医学部附属病院と東京女子医科大学八千代医療センターから派遣いただいた非常勤スタッフが診療を担当した。9月以降は小原が復帰し、引き続き非常勤スタッフとの体制で診療を行った。

3. 業務実績

新型コロナウイルス感染症の影響で、外来患者、手術数ともに大きく減少した。

	予定手術 (件)	緊急手術 (件)	内視鏡検査 (件)
平成29年度	30	9	6
平成30年度	48	15	5
令和元年度	57	11	9
令和2年度	32	10	4

4. 1年間の総括

新型コロナウイルス感染症による影響が大きい1年であった。産休・育休中は、小児科や外科に業務を分担していただくこともあった。小児外科としては開設4年目に入り、小児科やコメディカルスタッフの小児外科疾患に対する認知度が上がり、円滑な診療が行えるようになったと感じた。

5. 今後の目標

令和3年度からは、小児外科指導医が赴任する。より一層充実した地域に根付く診療拠点を目指していきたい。